

参議院選挙で審判を！「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2013年6月27日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

**保険料、医療費の負担が大変** 市営住宅値上げ・追い打ち

「札幌国保・介護・後期高齢者医療110番」全市でいっせいに相談会



「札幌国保・介護・後期高齢者医療110番」は、毎月、相談会を行っていますが、今年度の国保保険料通知が送付される6月は27日に、全市でいっせいに相談会を行いました。

白石区民センターで行われた相談会には10人が相談に訪れました。そのうち半数は、市営住宅に配布したチラシをみて参加しました。生活が大変で保険料や医療費の支払いの軽減の相談が多く寄せられました。

73歳の夫婦は、妻の月5万8千円(夫は無年金)の年金収入だけで暮らしています。介護保険料が控除され、残ったお金から、国保料、家賃、光熱水費、食費などを捻出しています。二人とも通院中で、夫は糖尿病のインシュリン治療などで、医療費も月8000円までは支払わなくてはなりません(高額療養費)。女性は「市営住宅が値上げされたので、さ

らに大変」といいます。また、月10万円の年金で暮らす高齢の夫婦も、「介護保険料、国保料、後期高齢者医療保険料、医療費などの支払いが大変。市営住宅の家賃が1万6千円に上がったので、さらに苦しくなった」と話します。

一方、年金月12万円だけで暮らす夫婦に、今年は15万7千円の保険料が請求されました。夫が昨年、アルバイトをしていたためです。今年は年金収入だけであることを申請して保険料を減額する手続きをすることにしました。保険料は当初の1/5の3万2千円になります。他にも、保険料の減免や分納などの支払い相談、生活保護などの申請を準備する方や、無料低額診療制度を利用することになった方も3人いました。

## 餓死や孤立死を生み出す「生活保護改悪法案」廃案!

通常国会閉幕 安倍首相問責決議も採択 いよいよ参院選 がんばりましょう!

26日、通常国会が閉幕しました。いよいよ参議院選挙がはじまります。「社会保障の改悪と消費税増税」をやめさせ、だれもが、まともな暮らしができる社会へ転換させましょう。

今国会では、12月からの年金等、8月からの生活保護費の引き下げなどを含む予算が通され、社会保障を抑制する「マイナンバー法」も強行採決されました。一方、国会最終日、参議院で「安倍首相の問責決議」が採択され、参議院厚労委員会が開かれず、餓死や孤立死を生み出す「生活保護改悪法案」は廃案になりました。この間、北海道でも「白石区の姉妹孤立死事件」を繰り返してはいけないと、宣伝や反対署名、安倍首相などへ「私のひとこと」を送付してきました。この廃案は、全国の世論と運動の成果ではないでしょうか。

しかし、自民党の一部議員は「参院選後、多数を得て、本来自分たちがしがたかった生活保護法の改定をする」といっているそうです。生活保護を改悪させないためにも参議院選挙は大切です。がんばりましょう。



## 生活保護制度を良くする会(準備会)

7月1日(月)16時～ 不服審査請求について、記者発表します

生活保護費が8月1日から引き下げられます。当事者だけでなく、多くの国民に影響がおよびかねません。この度、多くの団体、個人に働きかけて、「生活保護制度を良くする会・準備会」をつくり、学習会や署名、生活保護引き下げに対する不服審査請求などを行うことになりました(事務局は道生連です)。

7月1日(月)16時から、道庁記者クラブで、生活保護引き下げに対する不服申請の取り組みなどについて、記者発表することになりました。当事者の方からも訴えていただく予定です。



呼びかけ人代表 大橋 晃 さん(医師、北海道社会保障推進協議会 会長)  
木下 武徳さん(研究者、北星大学社会福祉学部准教授)  
肘井 博行さん(弁護士、雇用・くらし・ネットワーク北海道 代表)